

花ひらく近代洋画の世界

わたしは、まつだふみおさんの《こはるび》を見てすてきだなとおもいました。描かれている三人とも表情がやわらかで、どこかあたたかかったからです。なかでも、あかちゃんの表情が天使みたいです。(伊藤なつみ記者)

「花ひらく近代洋画の世界」で、ポスターでも紹介している安井會太郎さんの《女と犬》を推す理由は、この絵の作者が三十代後半から四十代中ごろ、1930年代はスランプにおちいって、その後、1940年ごろの作品だからです。スランプの後のいい時期に描かれた、この作者の作品の中でも、すごくいい作品です。(伊藤なつみ記者)

私が一番気に入った作品は、《梅雨入り(柿青葉)》です。描いた人は牧野虎雄さんです。気に入ったところは、緑です。どうして緑色が気に入ったかというと、緑色は緑色と言ってもいろいろな色や濃さがあつたからです。(山田和佳記者)

和田英作さんの《静物(果物)》は、描かれているすべての果物につやがあつて、おいしそうだった。りんごは赤だけでなく、緑色が使われていて、本物のりんごみたいだった。背景もとてもきれいだった。森芳雄さんの《静物(果物と水差し)》は、和田さんの《静物(果物)》とはちがうような描き方で、和田さんの作品はつやがあつたけどこちらはぼやけているように見えた。タイトルが同じなのに、違う作者でビックリした。(中村風香記者)

和田英作さんの《静物(果物)》はりんごやぶどうがつやつや、森芳雄さんの《静物(果物と水差し)》は絵の具をたっぷり塗つたみたい、高島達四郎さんの《秋果》は色鮮やかで塗り目もはっきりとしていた。同じ果物でも全然違う。やはり描く人が違つると絵も変わってくる。(宍戸美友佳記者)

《小春日》
松田文広



ぴとま



つるまき けいた
さん

色々な描きちが
あって面白かった
です。

みかみさん



松田 文雄
さんが、
おすすめです

しみじみとした
いい絵がタタいて
よかった。

かくふちが
印象的でした。
by Sei

あらいさん

さまざまな形
のかくふちが
あり、見ていて
たのしくなった。

ご協力、ありがとう
ございました。

うらやま

第17号
2015年11月



オススメ
小春日
やわらかいタッチか
じにのこりました。

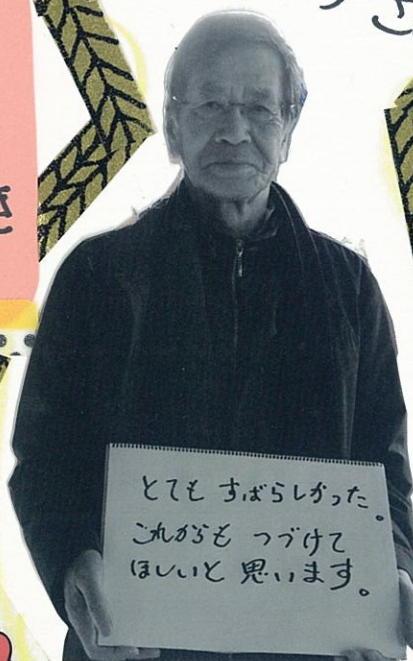
はせがわ
さん

題、風景

全体的に

ふんいきが好き
50代、男性
シララン

すぎうらさん



とてもすばしかった。
これがきっかけ
ほしいと思います。

花ひらく
近代洋画の世界
の会場で、いろいろな人
にお話を聞きました。

ステキな作品
がそろっています。
たくさんの人に
見てほしいです!

ふくださん

びとこま第17号
(2015年11月発行)

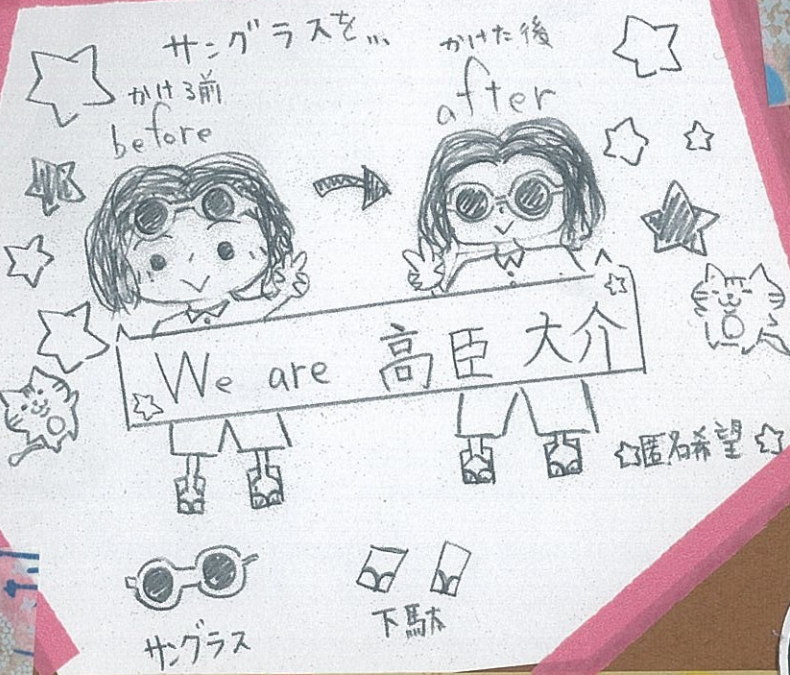
◇発行◇
苫小牧市美術博物館

◇企画◇
NPO法人榊前arty+

◇製作◇
苫小牧市美術博物館
こども広報部
NPO法人榊前arty+

◇取材◇
荒井 聖
伊藤 なつみ
伊藤 あやな
岡 藍良
熊谷 陽奈
黒滝 直人
央戸 美友佳
中村 創介
中村 風香
本多 ころ
宮脇 寿珠
麦島 怜奈
山田 和佳
山本 舞羽

◇編集◇
小河 けい
(NPO法人榊前arty+)



高臣大介さんは、洞爺湖町の月浦にあるgla—glaという名の工房
 でお皿やコップなどがガラスの作品を作っています。
 ガラス作品は吹いて作ります。吹きガラスには、型に入れて同じ形を
 たくさん作ることができる「かた吹き」と色々な形に作ることができる
 「ちゅう吹き」があります。高臣さんは「ちゅう吹き」です。中庭展示の
 作品には、吹いていないものもあります。



アフロみたいな髪。
 天パー。

カチューシャがと思ったら
 サングラスだった。

ぴとま

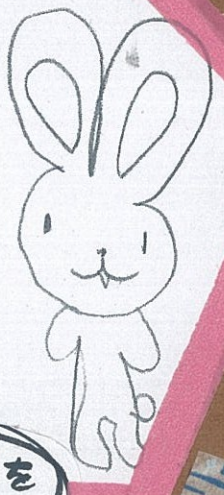
第7号
 2015年1月



中庭展示の
 作者さん
 高臣大介(41)
 さん

ケロット

ジューパン



山登り用のゲタを
 はいています。

高臣大介さんは、ガラスのアートをしている。
 かまの中にあるガラスはとろとろに溶けていて、いつも最低で
 1000度で、24時間保たれている。ねじれた作品は液体の
 ガラスを鉄の棒で巻き取り、ねじりながら、ガラスを焼いて作る。
 作品を作るのはアシスタントとやっているが、デザインなどは
 高臣さんがやっている。
 高臣さんの工房では、今もガラスがあたたまっている。

びとこま

第17号
2015年11月

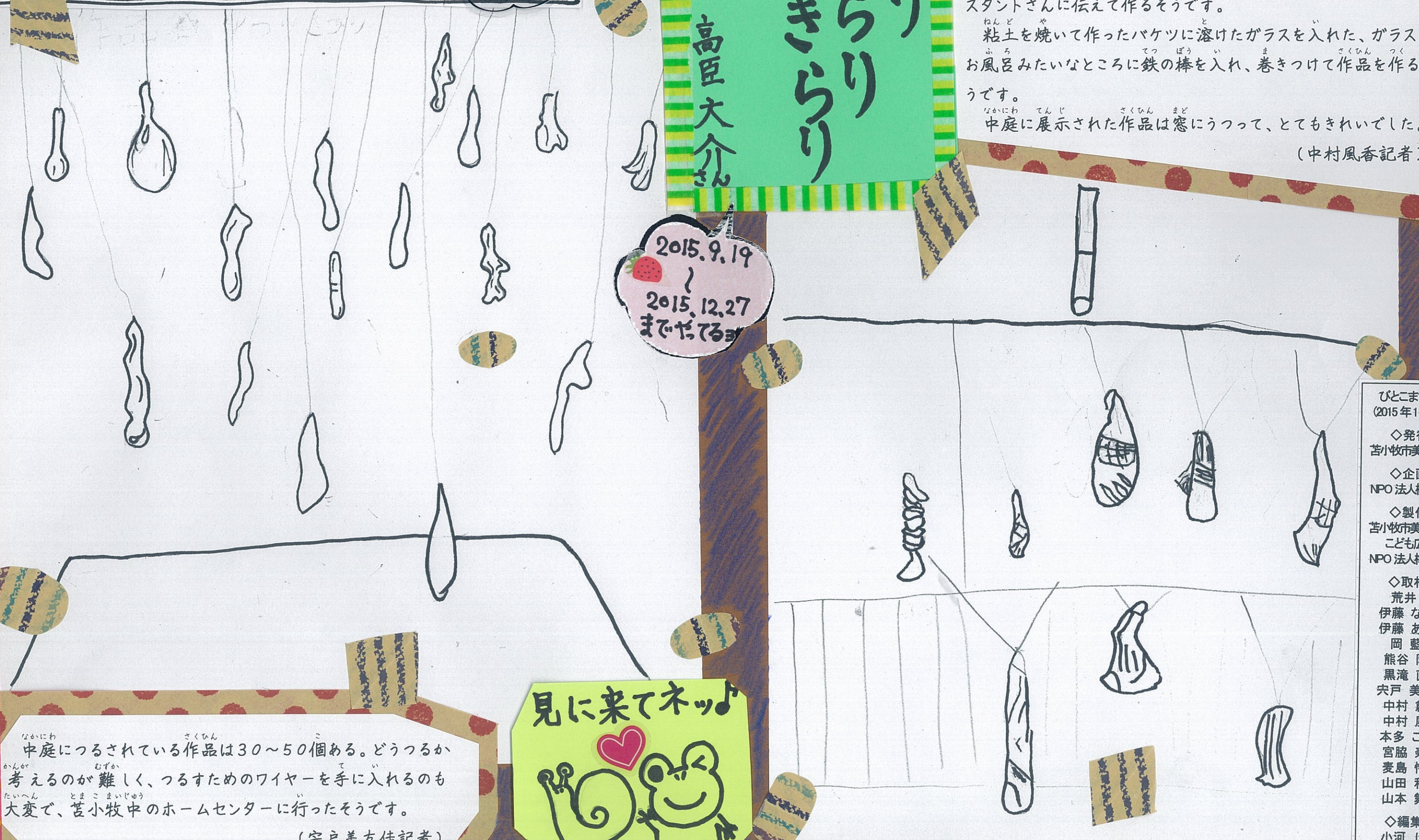
中庭展示★

ゆ
ひらり
きらり

高臣大介
さん

2015.9.19
〜
2015.12.27
までだてるよ

作品をつくるすのが命がけだったそうです。上から見ると本当にそのことがわかりました。
ねじれている作品は、かまに入れてねじりながら作るそうです。作品は、あらかじめどのようなかたちにするか決め、それをアシスタントさんに伝えて作るそうです。
粘土を焼いて作ったバケツに溶けたガラスを入れた、ガラスのお風呂みたいところに鉄の棒を入れ、巻きつけて作品を作るそうです。
中庭に展示された作品は窓にうつって、とてもきれいでした。
(中村風香記者)



中庭につるされている作品は30~50個ある。どうつるかを考えるのが難しく、つるすためのワイヤーを手に入れるのも大変で、苫小牧中のホームセンターに行ったそうです。
(宍戸美友佳記者)

見に来てネッ♪
♡
🐸

びとこま第17号
(2015年11月発行)
◇発行◇
苫小牧市美術博物館
◇企画◇
NPO法人榊前arty+
◇製作◇
苫小牧市美術博物館
こども広報部
NPO法人榊前arty+
◇取材◇
荒井 聖
伊藤 なつみ
伊藤 あやな
岡 藍良
熊谷 陽奈
黒滝 直人
宍戸 美友佳
中村 創介
中村 風香
本多 こころ
宮脇 寿珠
麦島 怜奈
山田 和佳
山本 舞羽
◇編集◇
小河 けい
(NPO法人榊前arty+)